

担当教員 菅瀬 晶子	Instructor Name SUGASE Akiko			
開講期 後学期	Class Starts at 2 nd semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DCSb02		単位 / Credit 2		
科目名称： 比較宗教研究特論				
Subject: Proseminar (Anthropology of Religion)				
<p>授業概要：</p> <p>宗教的マイノリティをめぐる人類学</p> <p>Anthropology of Religious Minority</p> <p>開講形態：講義および演習</p> <p>中東地域のキリスト教徒やムスリムの事例を中心に、植民地主義の影響によって宗教的マイノリティの間で発生したナショナリズムや、アイデンティティの変遷についての議論を学ぶ。</p>				
<p>教育目標・目的：</p> <p>植民地主義支配を受けてきた地域の宗教的マイノリティのアイデンティティの変遷について学び、他地域の事例との比較方法を会得する。また、ナショナリズムをめぐる議論の基礎知識と、マジョリティとの共生と排斥を調査するための視点を養う。</p>				
<p>授業計画：</p> <p>毎週金曜日 1 時半～</p> <p>文献購読をもとに討論をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東地中海アラビア語圏における宗教分布の概略 2. 植民地主義とナショナリズム 3. 中東のキリスト教徒のアイデンティティ表象とアラブ・ナショナリズム 4. イスラエルにおけるアラブ人市民の政治活動 1 5. イスラエルにおけるアラブ人市民の政治活動 2 6. レバノンのシーア派復興運動 1 7. レバノンのシーア派復興運動 2 8. 聖者崇敬からみた複数宗教信徒の共存と排斥 1 9. 聖者崇敬からみた複数宗教信徒の共存と排斥 2 10. 不寛容の時代における宗教的マイノリティ 11. 最終討論 				
<p>成績評価：</p> <p>資料購読での発表、議論 80%</p> <p>最終発表 20%</p>				

実施場所：

国立民族学博物館 4 階菅瀬研修室 (4085)

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

“Sleeping On A Wire: Conversations with Palestinians in Israel”, Grossman, David, Picador, 2003

“Shi’ite Lebanon: Transnational Religion and the making of National Identities”, Shaery-Eisenlohr, Roschanack, Columbia University Press, 2008

『宗教紛争と差別の人類学－現代インドで<周辺>を<境界>に読み替える』、関根康正、世界思想社、2006年

備考：

地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可